

## 令和4年度第1回唐津市男女共同参画推進協議会 会議概要

### 1 開催日時

令和4年8月9日（火） 13：30～15：20

### 2 開催場所

唐津市浜玉町公民館 大会議室

### 3 出席者

井上委員、井本委員、上野委員（会長）、小出委員、杉山委員、田坂委員、  
田中委員、中島委員、能隅委員、松下委員、山田委員 [11名]

### 4 欠席者

田代委員（副会長）、古川委員、前田委員、吉村委員 [4名]

### 5 アドバイザー

佐賀県男女参画・女性の活躍推進課 古川

### 6 事務局

男女共同参画課 仁部課長、小出係長

### 7 傍聴者

1人

### 8 会議次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議事

①唐津市男女共同参画基本計画（第4次）令和3年度実施状況について

②令和3年度審議会等委員に占める女性の割合について

③女性活躍推進事業について

(4) 閉会

## 【会議概要】

### 1 意見等の概要

事務局	<p><b>唐津市男女共同参画基本計画（第4次）令和3年度実施状況について（会議資料に沿って説明）</b></p> <p><b>令和3年度の唐津市における審議会等への女性委員登用率実績について（会議資料に沿って説明）</b></p>
会長	<p>本日の議題は、①唐津市男女共同参画基本計画（第4次）に定めて目標の令和3年度実績、②令和3年度の唐津市における審議会等への女性委員登用率実績の報告。③令和4年度に取り組む女性活躍推進事業の紹介である。</p> <p>① ②について説明を求める。</p>
事務局	<p>（会議資料に沿って説明）</p>
会長	<p>成果指標、活動指標をみると、例えば男女共同参画フォーラムや講演会などの参加数は、計画策定した平成30年度は991人であり目標が1,500人であった。その次点では500人増やすことを目標としていたが、令和2年、3年の実績を見てみると200人をきっている。この状況は、コロナ禍において研修会・講演会でできなかったこともあるのでご理解いただきたいと思う。しかし、その他の項目を見ると、例えば育児休暇の取得率は目標をクリアしているものもあれば、目標にはるかに及んでいない項目もある。そもそも、目標値をどのような基準でたてたのか疑念が生じるものもある。計画策定時に15回の開催を目標とされているが、そもそも計画策定に15回開催してあり、現時点では開催が30回を超えている。予算の関係などもあるかと思うが、そもそも目標値をどのような基準でたてたのか見直さなければならぬところがいくつか出てくると思う。</p> <p>資料1-2に入る。基本目標、施策の方向に沿って、個別具体的な事業が記載されており関係各課が自己評価をしている。自己評価3が多ければ問題はあるかもしれないが概ね順調に推移していると見られると思う。ところが、自己評価2は着手していない部分もある、不十分な点が多いということ。自己評価1は、着手していないところ。残念だが、自己評価2も多く見られるし、自己評価1も一定数ある。事前の打ち合わせで事務局にお願いしていた自己評価が低い要因について、事務局の説明を求める。</p>
事務局	<p><b>【No.35：働く女性の母性保護の啓発を行う】</b></p> <p>関係機関からの広報依頼がなく自己評価1と所管課は評価しているが、法改正などの際には、国・県の事業などを市ホームページで広報しており、自己評価を判定した各所管の担当者の意識によって異なると感じる。自己評価が高い所管もあれば、厳しく評価している所管もあるとの印象である。</p> <p><b>【No.42：「同和問題啓発強調月間」「人権週間」に広報活動、講演会、パネル展、懸垂幕設置などを実施する】</b></p> <p>新型コロナ感染症感染拡大のため講演会が開催できていないこ</p>

	<p>とにより自己評価1。ただ、講師の話を動画配信するな工夫はあってよかったと思う。</p> <p>【No.43：性的指向や性自認等に関する問題に関心と理解を深める人権研修を行う】 深く掘り下げた研修ができていないということで自己評価1。</p> <p>【No.49：農林漁業従事者の労働時間の適正化や定期的な休日取得など、職場環境の整備を指導する】 関係機関からの支援制度の案内、啓発依頼がなかったため実施しておらず自己評価1。また、例えば水産課では女性の水産業従事者を含めてネットを活用した販売に関する研修に市有施設を提供したり、漁協に対しネット活用に関する研修開催を促しているものの市主催ではないために低評価としている。</p> <p>【No.57：介護者同士が情報を交換し、互いに支えあえるネットワークづくりを推進する】 新型コロナ感染症のため交流事業を中止したため自己評価1。オンライン交流などを検討されたが、参加対象者のネット環境が脆弱など理由で開催が困難であった。そうであるならば、ネット環境がなくても可能なやり方として会報誌の発行などでの介護者同士の気持ちの共有ができたのではないかとの印象を持っている。</p> <p>【No.60：出前講座や研修などで、性犯罪やDVなど、災害時・復興時の女性に対する暴力防止対策の必要性を周知する】 出前講座や研修などで暴力防止対策の必要性の周知ができなかったとして自己評価1であるが、所管課においては、現在、当該部門で全国的にも著名な大学教授を委員に迎え「男女共同参画の視点から見る避難所運営マニュアル検討委員会」を立ち上げているが、大学教授からは唐津市は進んでいるとの高い評価を得ている。</p> <p>【No.63：複数の手続きを1つの窓口で行うワンストップ窓口の導入を検討し担当者を限定するなど、プライバシーの確保に配慮して、被害者が安心して相談できる体制を充実する】 本庁（旧市庁舎）の構造上ワンストップが困難であり、個室相談室もなかったが、相談員（常駐）は必要に応じ各窓口にも付き添っている。 新庁舎（R4.7.19～）では、個室相談室を設置しプライバシー確保は改善された。</p>
会長	<p>自己評価1の項目がなぜ1なのか、どうやって改善していくかを審議会で見聞交換しなければならぬと考える。</p> <p>では、各委員の所属に関連する基本目標を中心に意見をいただきたい。基本目標1、特に幼少期からの男女共同参画意識の形成に関しご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>小学校低学年頃から人権教育を勉強するが、社会を変えるには小学校・中学校・高校がユニットで取り組む必要があるかと思う。校長会などへも啓発依頼などがあると、目標達成に近づくのではないか。</p>

会長	幼稚園からはいかがか。
委員	幼稚園・保育園は、女性が多い職場である。男性の保育教諭・保育士も増加してきたが、逆に働きづらく長続きしないのが現状であるが、今後、もっと男性が進出してくるのではないかと楽しみでもある。
会長	公民館の立場からはいかがか。
委員	各公民館では最低年1回は人権同和問題研修会を実施することとなっている。令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止で十分に開催できなかったところもあるが、一般向け、地域住民向け、放課後児童クラブの子ども達向けに研修会を開催できており、概ね計画どおり。
会長	では、2番目の柱、福祉や生活の諸問題に関してご意見はないか。
委員	うつ病などの電話相談とあるが、24時間体制は困難か。
会長	県アバンセなどではいかがか。
委員	県アバンセでも24時間対応は困難だが、午前7時半から午後10時まで相談を受け付けている。
事務局	市の相談窓口を24時間体制は難しい。ただ、SNSやチャットだと顔が見えないのでハードルが低い。子育て支援課でも検討はしているようだが実施には至ってない。 DVなどは国などで相談・緊急通報を24時間体制で受ける体制を構築されており、全国的には24時間体制は取れている。
委員	県においては、時間帯を決めた相談窓口にとどまる。県ではないが、「佐賀いのちの電話」「こころの電話」など24時間体制の相談窓口もあるので、それらの周知は必要かと思う。DVなどの相談窓口としては「ワンストップセンター」で対応中。
事務局	市単独での24時間体制の構築は厳しいと考える。佐賀県や全国では24時間対応の相談窓口があるとのことであるが、問題はその情報が必要とする人に届いているか。周知拡大が必要。
事務局	これまでも相談窓口を記載したカードを特に女性向けトイレなどに置いている。今年度はDVに限らず、仕事、住居、子育てなどの各種相談窓口を記載したカード「相談することは甘えでも恥ずかしいことでもありません」を作成し、庁舎内に限らず市内の主たる商業施設など民間施設のトイレなどにも設置していただいている。細々とした活動しかできないが、何とか助けを求める女性に相談窓口を知らせたいと思っている。
会長	防災関係でご意見をいただきたい。
委員	先ほどの、No.60の自己評価1は厳しい自己評価と感じる。出前講座の際にはアバンセで作成したリーフレットを活用し女性や子供に配慮した避難所などについても参加者と意見交換しながら出前講座を開催してもらっている中で自己評価1は厳しい。
会長	3番目の柱、労働・女性の活躍についていかがか。
委員	監督官庁から、管理職に占める女性の割合をあげるように言わ

	<p>れているが、現場としては厳しいものがある。先日、パナソニックの報道（係長級と課長級の昇格試験を廃止。試験に備える研修が長期となり子育て中の女性らに負担が重い。代わりに必要なスキルや能力を明示し公募制を導入することで女性登用の機会を増やすというもの。）などをみると日本全体として動き始めてくるのだと認識できるが、地方の中小企業ではすぐに取り入れることは難しいところがある。しかしながら、このような社会の意識が変革する中で、女性管理職が少ないという問題も改善に向かっていくかと考える。採用の際に女性管理職の割合を示すこととなったが、若い人に自社をアピールするためにも女性管理職の割合を公表することが企業にも求められている。企業もこれから変わっていくのではないかと思う。</p> <p>話を交えるが、コロナ禍ということで講演会などの実績が目標値 1,500 人に対し実績は 178 人と達成度が非常に低い。手前みそだが、自社でもハラスメント研修を行うが、一度に集めず、分割して研修を開催している。このハラスメント研修は教育委員会の指導員に実施してもらっているため、このような研修ももっとアピールしてよいと思う。</p>
会長	<p>ポストコロナ、ウィズコロナ期においても、実施できる方法があるのではないかと提案だと思ふ。他にご意見はないか。</p>
委員	<p>一般事業主行動計画に従業員 101 人以上の事業所は策定しなくてはならない。唐津市は、策定対象事業所が 43 社あり全社が策定済みであるということである。事業主も女性の働く環境を考える時代である</p>
会長	<p>他にご意見はないか。</p>
委員	<p>コロナ禍で男女間・夫婦間の相談が非常に増えた。原因は、一緒の時間が増えた、お金がなくなった、仕事がなくなった、などで諍いが増えたと思う。コロナになり、ストーカー規制法や交際相手からの暴力事案が非常に増えた。ただ、暴力行為を受けた女性側も「DV を受けたと思う」「これはモラハラでは」などの意識は非常に向上していると感じるので、カードの設置などの啓発活動の効果がそれなりに出てきていると思う。この調子で開発を進めていっていただきたい。</p>
会長	<p>他にご意見はないか。</p>
委員	<p>男女共同参画に関する職員研修を 2 回開催したとあるが、これは市民センターも含めて全職員か。</p>
事務局	<p>全職員。</p>
委員	<p>先日、外国人の方に関する相談をしたいと考え市民センターに問い合わせたが、「うちではできない」とだけで、相談窓口の紹介もなく、これから相談がしづらかった。その後、本庁に問い合わせると親身になって対応いただいた。市民は、本庁・市民センター区別せず頼る。市役所・市民センターは色々な方が利用するので利用者に寄り添って欲しい。</p>
会長	<p>男女共同参画に限らず、縦割り行政での対応改善をとのご意見。他にご意見はないか。</p>

委員	<p>子育て世代は、場所を異動しないで済む窓口の1本化は本当に助かる。年度末の提出書類は多岐にわたり障害があれば、子育て支援課だけでなく、教育委員会や障がいの窓口にもいく必要がある。そして、センシティブな内容もあるので（新庁舎には）個別相談室ができたということで嬉しい。</p> <p>がん検診の普及について、乳がん検診が女性に対しどれだけ必要かという情報が女性に届いているか。若い頃から伝えていくことが大事だと自分が今の年代になって思うようになった。中学校の総合教育の時間などで、同和教育もだが、市が行っている乳がん検診やがん検診などをもう少し取り入れていいのではないか。授業の中で、当たり前会話できるものとしてこの推進協議会で話されているような内容が、これから大人になる子供たちに伝わるとよいと思う。</p> <p>今、管理職を目指して働いている女性と自分が会社で働いていた頃とでは、労働環境は大きく異なると思う。今後、出産・育児をする女性に向け、どんな管理職を目指すなど研修などがあつたら成長につながると思う。自分が働いているときにそのような環境があれば、もう少し上を目指せたのかとも思う。</p>
会長	審議会等委員への女性委員の登用について、妙案・ご意見はないか。
委員	県内の他自治体の防災会議で女性委員の比率が非常に上がっているのであるが、要因を知りたいと思っているが・・・。
会長	<p>これまでの制限を取り払うなどが行われたのかもしれないが・・・。</p> <p>では、議題3「女性活躍推進事業について」説明を求める。</p>
事務局	<b>令和4年度女性活躍推進事業について</b> （会議資料に沿って説明）
事務局	（会議資料に沿って説明）
会長	どのようなやり方・講師がよいのかご意見はいかが。
委員	<p>地域女性活躍推進交付金を活用している自治体は、令和3、4年度は、佐賀県と唐津市。令和5年度は他市からも申し出があつている。唐津市は、積極的に活用しておりよい動きである。</p> <p>現在、セミナー活動を中心に活用されているが、育児や介護、ひとり親などの事情を抱えた女性の働き方に関するセミナーなど、色々な可能性を考えていただきたい。また、放課後の児童を対象に飲食店で料理教室をしながら母親に仕事を紹介するなど、全国を見ると様々な取り組みがある。</p>
事務局	唐津市では、来年度以降もこの交付金を活用したいと考えている。令和3年度から実施しているキャリアアップセミナーは続けたいを思っている。デジタル活用とよく耳にするが、コロナ禍で在宅ワークが当たり前のような時代になった。在宅ワークは、女性にとっても時間の融通がきき働きやすい環境。できれば、デジタルの力を借りた女性の進出につながるようなセミナーができればと思う。

会長	リモートで実施するようなハイブリッド形式セミナーは、設営やネット環境の設定に不安が出てくるかと思うが・・・
委員	アバンセではすでにハイブリット開催も実施しているので、相談には応じる。
会長	議事については終了。会の進行を事務局に返したいと思う。
事務局	今日いただいたご意見を参考にしながら、更に男女共同参画社会が進むよう取り組んでいきたい。 長時間にわたりありがとうございました。